



東芝エレベータ株式会社 上野原事業所 サイトレポート情報	
所在地	山梨県上野原市上野原 8 1 5 4 - 1 0
敷地面積	36,272m ² 、建家面積：12,312m ² 、緑化率39.7%
設立	1995年4月、従業員：88人（2011年5月現在）
主要製品	エレベーター制御装置の製造
ISO14001認証取得	1998年8月、最新更新年月：2010年8月 (ISO認証番号：EC98J1042)



ごあいさつ

上野原事業所は、1995年4月に工場を移動し1996年10月に事務・研修棟を移動しました。2002年8月に制御装置製造部門が府中工場から移転、2003年10月に信頼性評価センターが発足し現在に至っています。



環境保全責任者 田巻事業所長

2010年度の環境の主な取り組み

2010年度 環境目的	上野原事業所環境推進計画（事業プロセスの革新）環境目標	の主な取り組み 推進項目
1. 地球温暖化の防止	エネルギー起源CO ₂ 排出量の削減	再生可能エネルギー、新エネルギー導入 CO ₂ 削減、省エネ施策推進度
2. 資源の有効活用	廃棄物総発生量原単位の削減 廃棄物ゼロミッション達成拠点	廃棄物総発生量削減施策進捗度 最終処分量（ゼロミ化）実績
	水受入量原単位の削減	水使用量削減施策進捗度
3. *部門自主活動	リユース事業拡大	基板リユース・ユニット品リユース

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

- ◎環境調和型製品の創出・提供
 - *リユース事業の拡大
 - ・基板リユースの定着
 - ・ユニット品リユースの拡大

環境コミュニケーションの紹介

- ◎地域の中学生の通学にスクールバスを提供
 - *当社従業員の送迎用バスを地域の中学生のスクールバスとして提供しています。
- ◎上野原事業所周辺の清掃活動
 - *2010年度は計6回実施しました。
- ◎ペットボトルのキャップ収集
 - *2010年度は74.9kgを収集しました。

上野原事業所 環境基本方針

東芝エレベータ株式会社は、東芝グループ環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、「緑の地球を自分たちで守ろう」をスローガンとして、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会をつくることを東芝エレベータグループ全社員が一丸となり誠意を持って実行します。

上野原事業所が位置する山梨県は、東京に隣接し首都圏からのアクセスに優れているだけでなく、東西に貫く中央自動車道により、東京、名古屋、大阪の3大都市圏ともダイレクトにアクセスが可能でありながらも、富士山、南アルプス、八ヶ岳など日本屈指の名峰のもと、富士五湖や清里高原に代表される豊かな自然に恵まれており、清らかな水とそれを育む緑に囲まれた山紫水明の地です。この豊かな自然と環境を守る為、当事業所は山梨県及び上野原市の行政方針に沿った環境保全活動を実施するとともに、省エネの推進、リユースの適用拡大及び資源ごみのリサイクルなどによる廃棄物排出量の削減などの活動を、事業所全社員が一丸となり誠意を持って実行します

◆環境経営の推進

1. 環境への取り組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、「東芝エレベータグループ環境アクションプラン」の策定により、社会、経済と調和させた環境活動を推進します。
2. 当社が行う事業活動・製品・サービスに関わる環境側面に関する法令、協定及び当社が同意した業界等の指針等を遵守し、かつ当社の自主基準を制定し、コンプライアンスを第一とします。
3. 昇降機の開発・設計・製造の活動が環境に与える影響を常に的確に捉え、生物多様性を含む環境への影響を評価し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、更に定期的に見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善及び環境負荷の低減、汚染の防止を推進します。
4. 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
5. 環境に関する教育及び広報活動を実施し、上野原事業所の社員と家族及び地域住民へ環境活動の理解と意識向上を図ります。

◆環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

1. 地球資源の有限性を認識し、地球温暖化の防止、資源の有効活用など、全ての事業プロセスにおいて循環型企業へ転換するために、積極的な環境施策を展開します。(事業プロセスの革新)
 - ① エネルギー起源及び物流に伴うCO₂排出量の削減
 - ② 廃棄物総発生量の抑制及び廃棄物ゼロエミッションの達成
 - ③ 水受入量(生活用水)の削減

◆地球内企業として

1. 建物の縦の交通機関として重要な役割を担う昇降機を通じて、環境にやさしい事業活動、製品、サービスの開発と提供、及び地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会的責任を果たすとともに、社会に貢献します。
2. 相互理解の促進のために、利害関係者に対して正確な環境情報の開示と積極的なコミュニケーションを行います。
3. 生物多様性に配慮した事業活動などにより、生物多様性の保全及び生物多様性の構成要素の持続可能な利用を行います。

この環境基本方針は、関係会社及びビジネスパートナー会社の社員を
_____ 含む全従業員に周知するとともに一般の人にも公表します _____

2011年6月27日

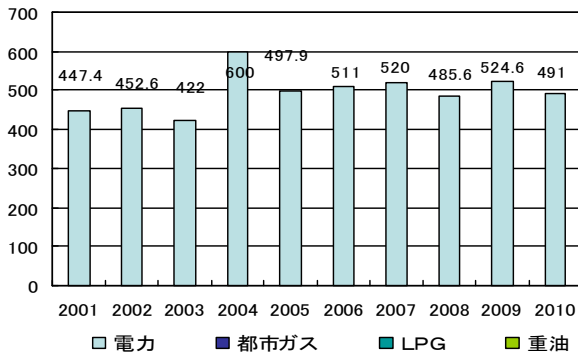
東芝エレベータ株式会社

上野原事業所 所長

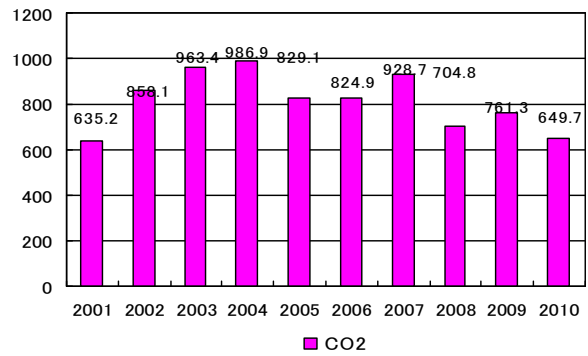
田巻 尚芝

環境負荷データ

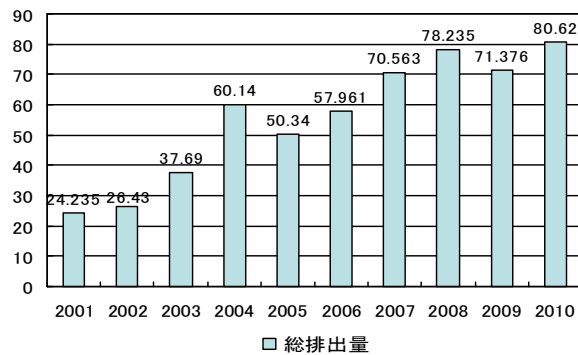
エネルギー使用量(単位:KL)



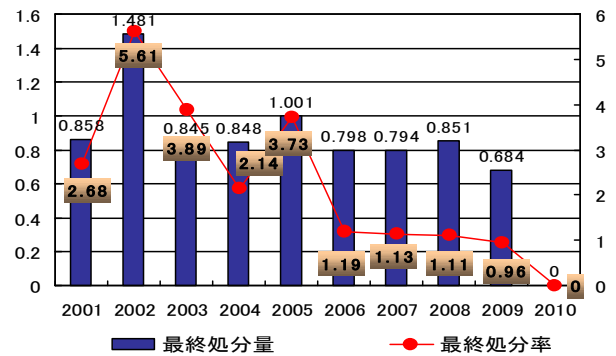
CO2排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

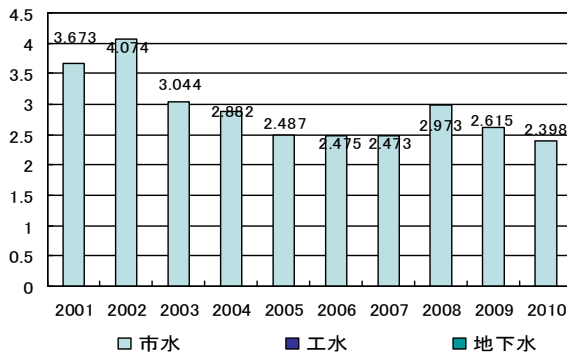


廃棄物最終処分量(単位:トン)と最終処分率(単位:%)

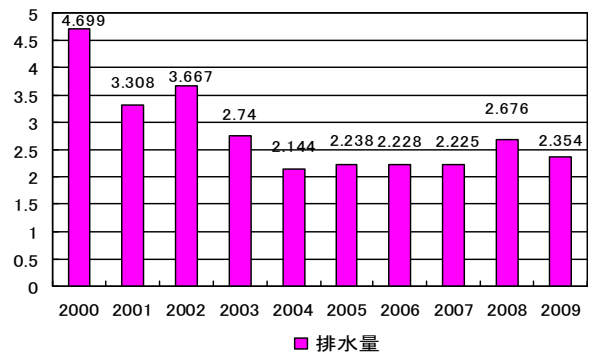


主な廃物名: 金属、紙くず、プラスチック

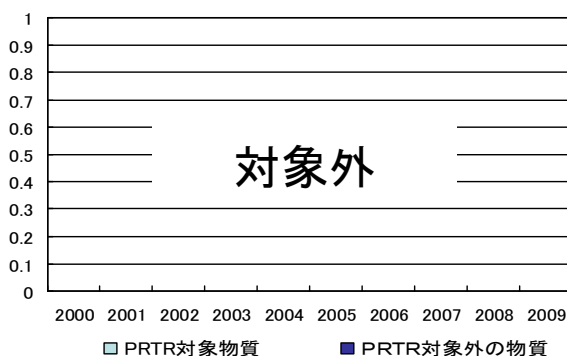
水の使用量(単位:千m³)



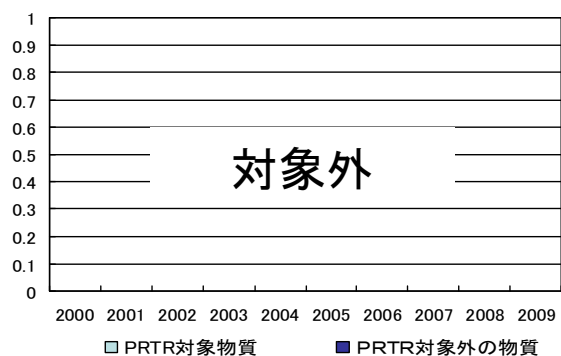
排水量(単位:千m³)



第4次ボランタリープラン削減対象の取扱量の推移(トン)



第4次ボランタリープラン削減対象の排出量の推移(トン)



主な化学物質: XXXXX、XXXXX、XXXXX、XXXXXX、XXXXX、XXXXX、XXXXX、XXXX

遵法管理状況

<大気測定結果> 対象施設なし

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> (対象処理施設なし・生活雑排水測定、大月下水処理施設) 法的な測定は不要だが、自主的に実施。

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(協定値)	対象外	対象外	年2回
BOD(mg/ℓ)	6(協定値)	対象外	対象外	年2回
COD(mg/ℓ)	6(協定値)	対象外	対象外	年2回
SS(mg/ℓ)	6(協定値)	対象外	対象外	年2回
窒素(mg/ℓ)	20(瀬戸内法上乘せ基準)	不検出	不検出	不検出
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	対象外	対象外	年2回

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:XXX施設(機械プレス)、振動:XXX施設(機械プレス)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界:夜	対象外	対象外	対象外	対象外
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界:夜	対象外	対象外	対象外	対象外

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし